

地域経済の発展のため、産学官金連携で実効性のある取り組みを進めます

4月1日に施行した「大崎市中企業及び小規模企業振興基本条例」に基づいた、活力ある産業のまちづくりを推進するため、7月4日、同条例制定を記念したシンポジウムを開催しました。

この条例は、大企業、商工団体や金融機関、学校などの役割を明文化し、それぞれが連携しながら、市が責任をもつて中小企業・小規模企業の振興を進めていくものです。

基調講演では、京都大学名誉教授の岡田知弘氏が「振興基本条例を活用して地域を元気にする」と題し、大分県由布市の取り組みを紹介。全国屈指の温泉地である共通点を示した上で、地域経済発展や雇用創出など、地域の企業が市民生活の向上に大きな役割を担う存在であると話されました。

パネルディスカッションでは、地域の大企業、商工団体、

金融機関、学校の代表が、それぞれの立場で、条例に期待することや企業振興のためにできることなどを話し合いました。

市では今後、地域産業の振興を図るため、必要な事業の検討などを行う場を設定するとともに、産業支援の体制を強化していきます。

皆さんが将来にわたり安心して働き、生活ができる社会のため、実効性のある取り組みを推進していきます。



▲子どもたちの育成のために、企業や団体ができる支援についても話し合いました

地域自治組織の取り組みから地域の支え合いの重要性を学びました

7月13日、「大崎市流域地域包括ケアシステム市民フォーラム」を開催し、生活支援に対する地域ニーズの把握と住民同士の支え合いの取り組みを確認しました。

基調講演では、公益財団法人さわやか福祉財団理事長の清水肇子氏を迎え、全国の地域包括ケアの取り組み事例を紹介。互いの見守りやいきがい、地域の誰かの活力となることを創出するためには、「自助・互助・共助・公助」が、それぞれに効果を発揮することが必要です。

パネルディスカッションでは、鹿島台まちづくり協議会（健やか安心委員会）委員長大町順孝氏と池月地域づくり委員会（池月サポーターセンター）センター長高橋一夫氏が、それぞれ生活支援体制整備事業開始のプロセスを紹介しました。事業導入後、鹿島台地域では、高齢者を対象とし

た生活の困りごとアンケートの実施。池月地域では、除草、清掃作業など身の回りのサポート事業「池月を助け隊」が活躍しています。地域住民が、調整役となることにより、住民同士の支え合いのしくみが構築されています。今後の目標は、地域で「自主運営」をしていきたいと意気込みを話しました。

市では、今後も市民と協働して支え合いに対する意識を高め、活動の創出に取り組んでいきます。



▲各地域の生活支援事業の成果などを発表するパネリスト(写真右)

Discover Osaki

地域発 お・ら・ほ・の・ま・ち

自分の住む地域を「おらほ」というと、親しみや愛着を感じませんか。おらほの地域づくり、おらほの隠れた名所、おらほの美味しい特産品、おらほの伝統のまつり、おらほのイベント……。そんな、愛してやまない「おらほの地域」を発信します。



岩出山発

老若男女の元気な笑顔がCMになりました！

市内では、各地域をより強く、より良くするため、「まちづくり協議会」や「地域づくり委員会」などの団体が住民によりそい、地域を支えています。

今回、岩出山地区のさまざまな地域活動や人々のつながり、元気な姿が評価され、岩出山地区の人々が犬塚製菓(株)のCM出演に起用されました。

この取り組みは、日本全国でも特に元気に活動するコミュニティ・団体の様子を発信し、地域もCMを見た人も元気にしていこうと、犬塚製菓(株)が

企画しているものです。全国では17例目、宮城県初の選出となりました。

5月中旬に行われた撮影では、岩出山地区から約400人が参加。地域のいきいきとした笑顔が映ったCMは、12月までの約半年間、毎週月曜日20時48分頃(特番の場合は21時48分頃)、KHB東日本放送で放送されています。ぜひご覧ください。



◀▲今回撮影された元気な姿を映した写真のうち、約260枚を飾る写真展が開催されます。

ハツラツ写真展

日時 8月16日(金)～18日(日)
9時～17時
場所 岩出山地区公民館

松山発

世界農業遺産 大崎耕土の水管理を学びました

6月27日と7月4日、世界農業遺産を学ぶ講座が2日にわたって開催され、松山地域の約20人が世界に認められた水管理への理解を深めました。

松山公民館が主催したこの講座は、昨年度に引き続き2回目。今回は松山地域の巧みな水管理として「ため池・頭首工などの活用」をテーマに実施され、現代の用排水と昔の番水(とろしぎこう)を比較し、農業の発展とともに変化してきた水の活用方法について専門家の話を聞きました。

7月4日には、ニツ石ダム(加美町宮崎)や桑折江頭首工(三本木桑折地区)、阿久戸排水機場(鹿島台船越地区)を現地視察し、極端な水不足や洪水から、大崎耕土の農業を守ってきた知恵を学びました。参加者は「実際に見ることで、何気なく見てきた田園地帯に、先人の苦労や知恵が詰まっていることを実感できた」と話していました。



▲阿久戸排水機場の視察では、今と昔の水管理の違いを聞きました。



▲南三陸町復興支援に対し、佐藤仁町長から感謝状が贈られました

2019								7月の主な出来事
29日	23日	20日	15日	8日	7日	5日	4日	
●第1回大崎市男女共同参画推進審議会	●姉妹都市締結20周年愛媛県宇和島市・大崎市民親善訪問団(25日まで)	●移動市長室「おおさき宝探し未来トーク」 ●図書館開館2周年記念事業(21日まで)	●第38回学童相撲大会	●台湾インターン生受入引渡式	●大崎市消防団演習	●優良工事表彰状授与式 ●南三陸町復興御礼感謝状贈呈	●大崎市道路クリーンキャンペーン出発式	
						●道の駅おおさきオープン ●古川東口オータリークラブ創立40周年記念事業記念碑除幕式		